



NISSHA

2018年12月期  
決算説明会

2019年2月14日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

# 本日のポイント

## 2018年12月期の実績

- 前年同期比 増収増益（為替レート：¥109）
  - 売上高 2,074億円、EBITDA 173億円、営業利益 80億円、経常利益 73億円、親会社株主に帰属する当期純利益 43億円
  - デバイス：H2に需要が拡大するも12月に急減、収益性は前年より大きく改善
  - 産業資材：自動車向け、蒸着紙の需要は堅調も、海外成形工場の生産歩留まりに課題
  - メディカルテクノロジー：買収による業績連結により事業規模が拡大

## 2019年12月期の見通し

- 減収増益を計画（M&Aを含まない前提、為替レート：¥105/\$）
  - 売上高 1,950億円、EBITDA 188億円、営業利益 85億円、経常利益 78億円、親会社株主に帰属する当期純利益 60億円
  - デバイスはH1低調、H2急回復
  - 成長戦略の加速：医療機器、高機能パッケージ資材、自動車

## トピックス

- 社外取締役2名の変更（2019年3月22日 株主総会の決議事項、社外比率は変わらず4/9）
- 買収防衛策の非継続（廃止）を決定
- 2019年12月期の年間配当は、創業90周年の記念配当（5円）を含め、35円を予想
- 情報コミュニケーションの事業再編が完了（2019年1月7日）

# 2018/12期（年間）：増収増益、売上高は過去最高 メディカルテクノロジーの売上高成長率は20%超

(百万円)

	2017 (1-12月) 実績	2018/12期 (1-12月) 実績	前年同期比* (2017年1-12月比)
売上高	193,481	✓ 207,404	+7.2%
産業資材	49,409	47,124	▲4.6%
デバイス	111,084	123,541	+11.2%
メディカルテクノロジー	18,195	22,351	✓ +22.8%
情報コミュニケーション	14,445	13,935	▲3.5%
その他	347	452	+30.3%
EBITDA	15,100	17,343	+14.9%
EBITDA率	7.8%	8.4%	+0.6pt
営業利益	4,004	✓ 8,071	+101.5%
営業利益率	2.1%	3.9%	+1.8pt
経常利益	4,936	7,370	+49.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,681	4,308	+60.7%
為替レート	¥111/\$	¥109/\$	

## 2018/12期 Q4（3ヶ月）

収益性は前年同期比で改善、前四半期の水準を維持

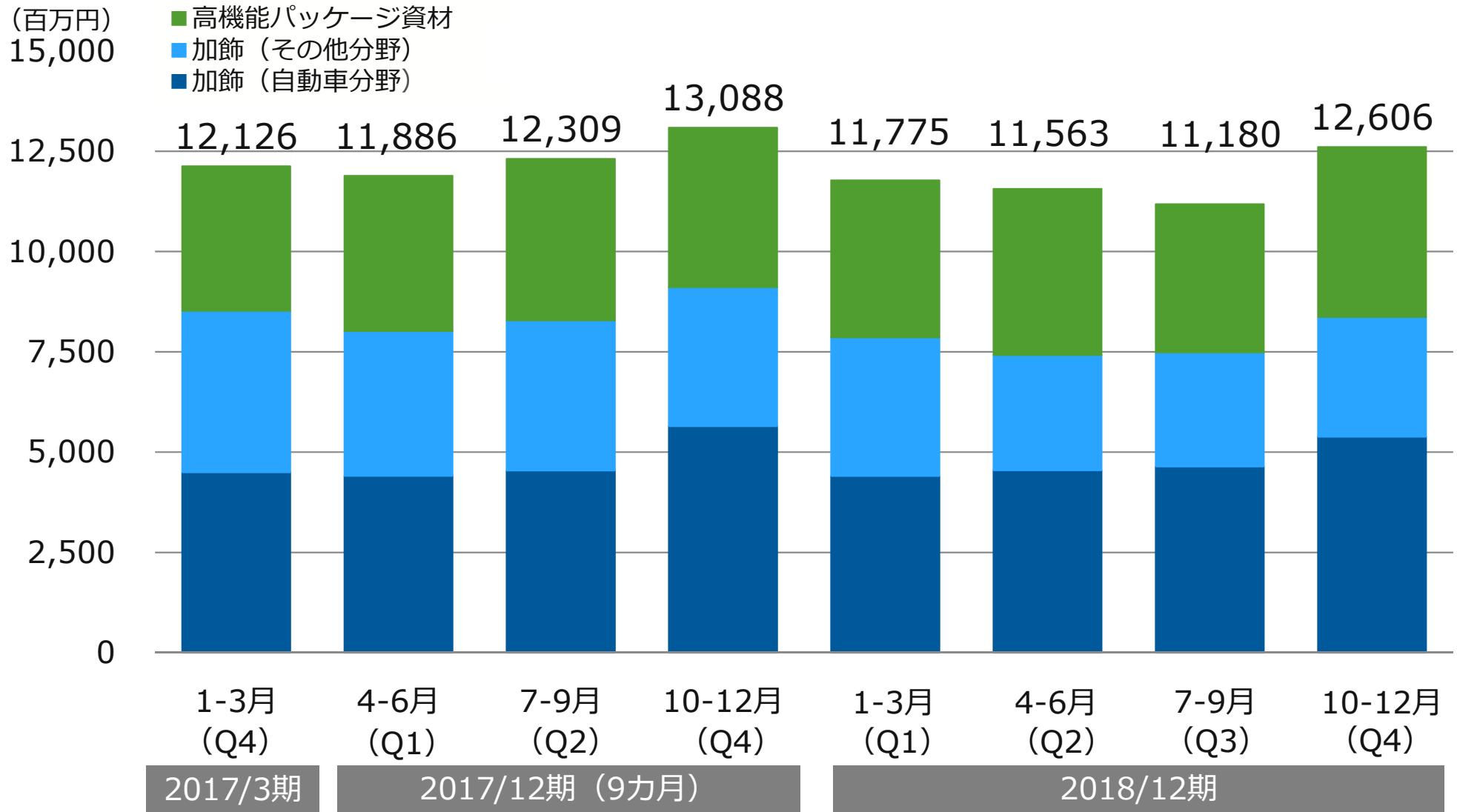
（百万円）

	2017/12期 10-12月 実績	2018/12期 7-9月 実績	2018/12期 10-12月 実績	前年同期比 (2017/12期 10-12月比)	前四半期比 (2018/12期 7-9月比)
売上高	64,503	68,318	66,544	+3.2%	▲2.6%
産業資材	13,088	11,180	12,606	▲3.7%	+12.8%
デバイス	41,917	48,029	43,500	+3.8%	▲9.4%
メディカルテクノロジー	5,085	6,028	6,336	+24.6%	+5.1%
情報コミュニケーション	4,310	2,967	3,974	▲7.8%	+33.9%
その他	103	113	130	+26.2%	+15.0%
EBITDA	7,353	8,834	8,377	+13.9%	▲5.2%
EBITDA率	11.4%	12.9%	✓ 12.6%	+1.2pt	-0.3pt
営業利益	4,439	6,434	6,113	+37.7%	▲5.0%
営業利益率	6.9%	9.4%	✓ 9.2%	+2.3pt	-0.2pt
経常利益	5,362	7,349	5,975	+11.4%	▲18.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,893	7,205	3,857	▲21.2%	▲46.5%
為替レート	¥111/\$	¥110/\$	¥111/\$		

# 産業資材

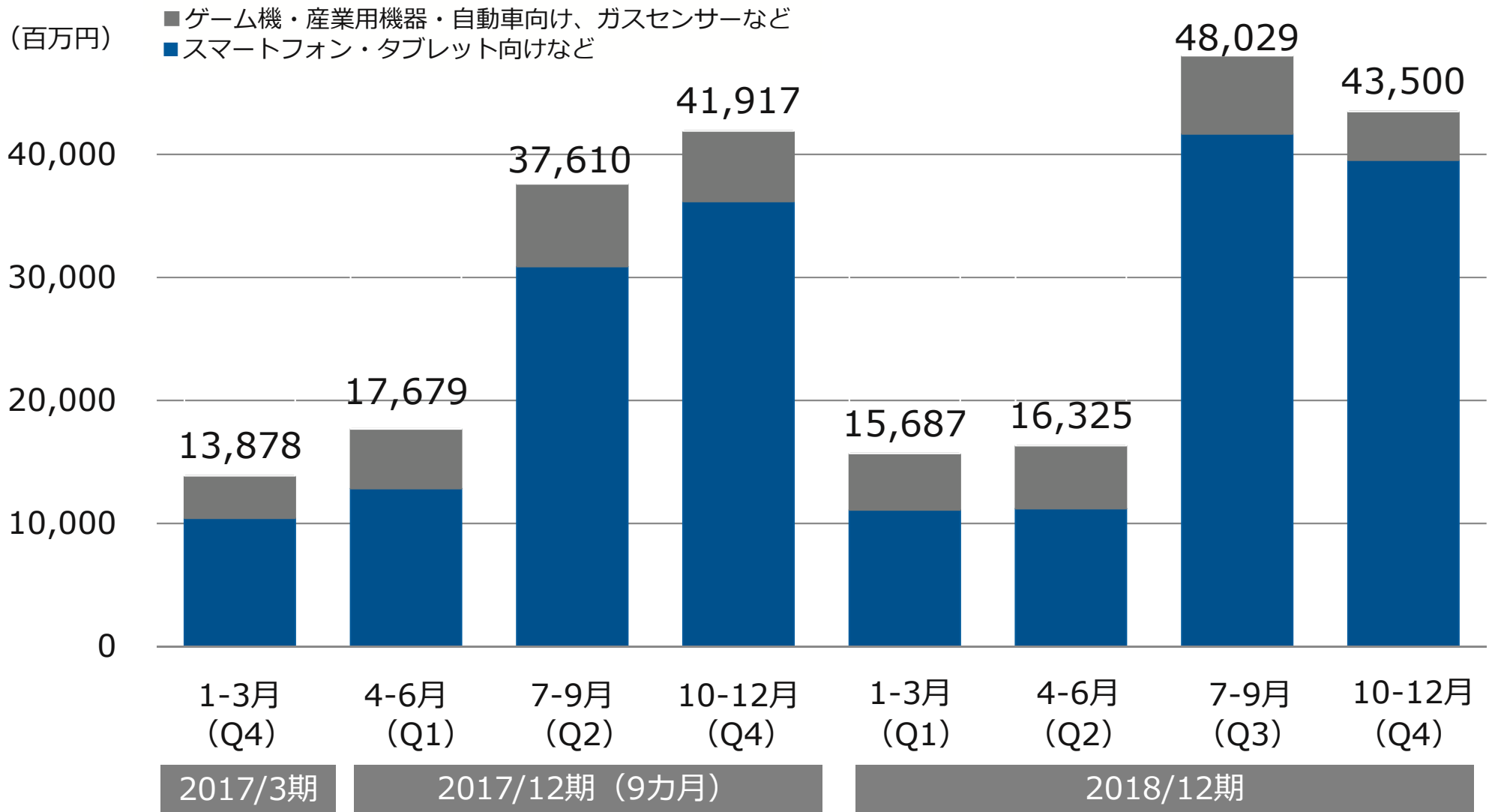
## 自動車、蒸着紙の需要が堅調

用途別売上高（四半期）



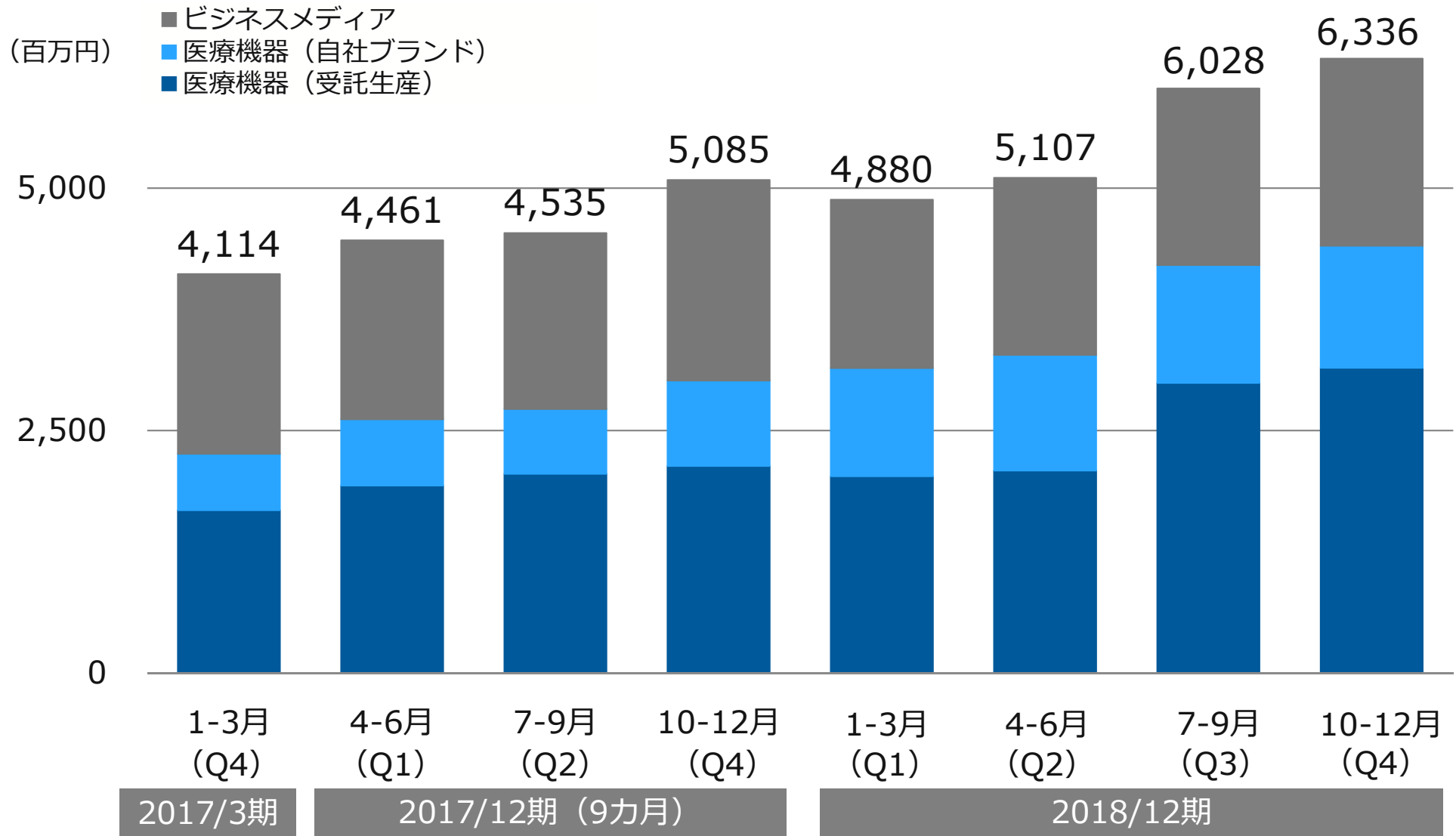
# デバイス Q4（12月）の需要が急減、Q3の実績を下回る

## 用途別売上高（四半期）



# メディカルテクノロジー 企業買収（3社）により事業規模が拡大

## 用途別売上高（四半期）



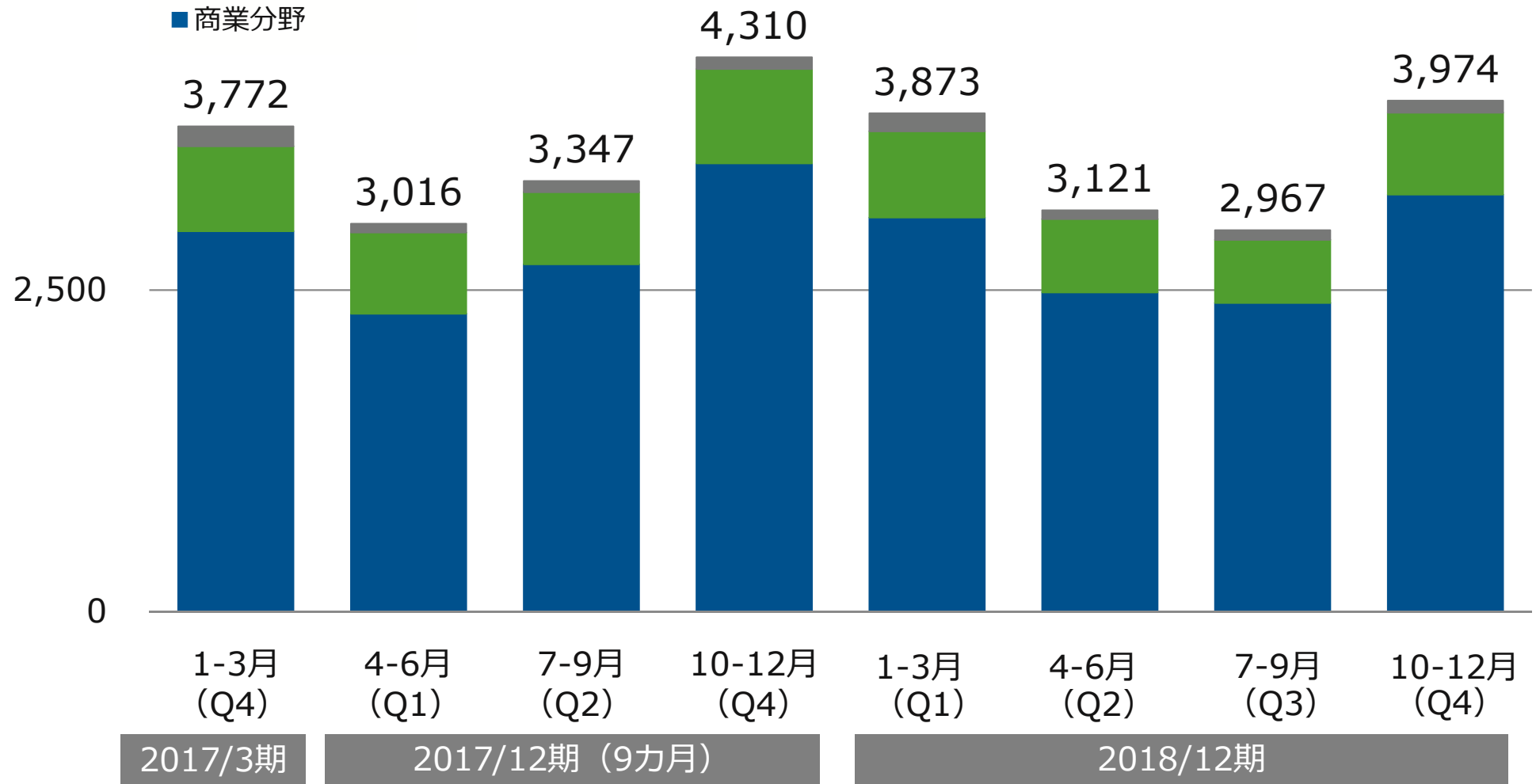
# 情報コミュニケーション

## 用途別売上高（四半期）

(百万円)

5,000

- その他
- 出版分野
- 商業分野





# 第6次中期経営計画の進捗 (2018-2020)

# 第6次中期経営計画の重点4市場



# 2019年度（中期経営計画の2年目）の戦略

- 医療機器、高機能パッケージ資材、自動車の成長戦略を具体化（M&Aの実行）
- ITの収益性・効率性の維持・追求

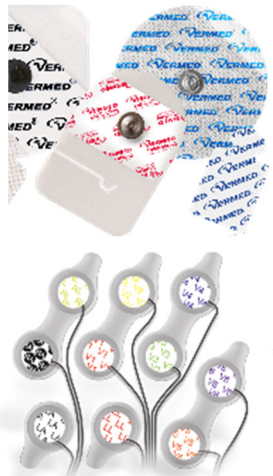


中期経営計画 M&A予算  
315億円（2018-2020 3年間合計）

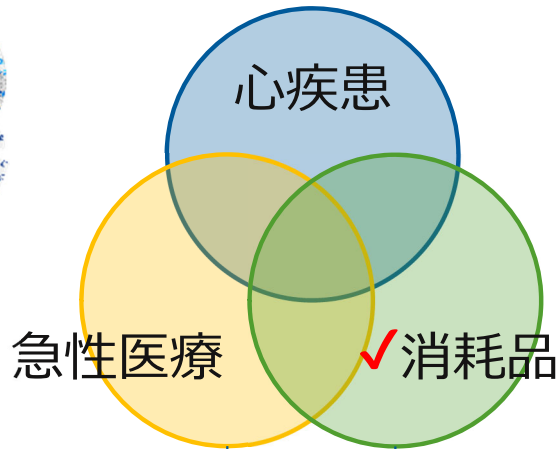
# 医療機器の成長促進に加え、DDSを本格化

## ● 医療機器

- 受託生産：設計・開発能力の拡充
- 自社ブランド：製品ラインアップの拡充



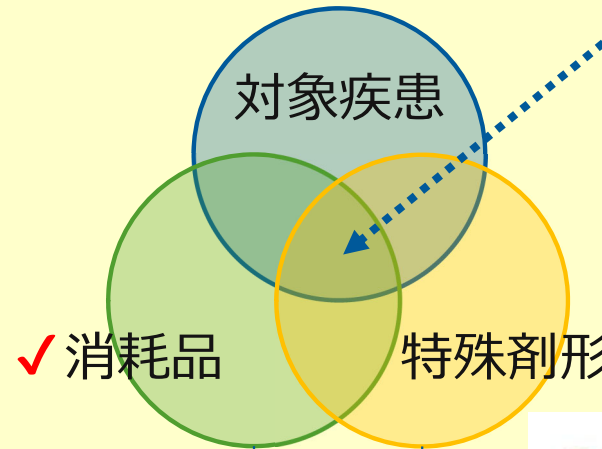
バーメッド クララビュー™  
2018年12月日本発売



フィルム、Roll-to-Roll

## ● Drug Delivery System (DDS、薬物送達システム)

- 錠剤や注射薬からの剤形変更が市場機会



マイクロナードルパッチ  
2017年4月上市

特殊剤形の例



印刷

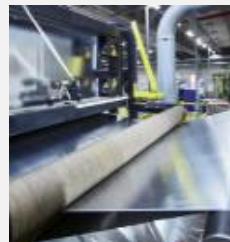
✓ コーティング

✓ ラミネーション

✓ 成形

✓ パターンニング

NISSHAの  
コア技術





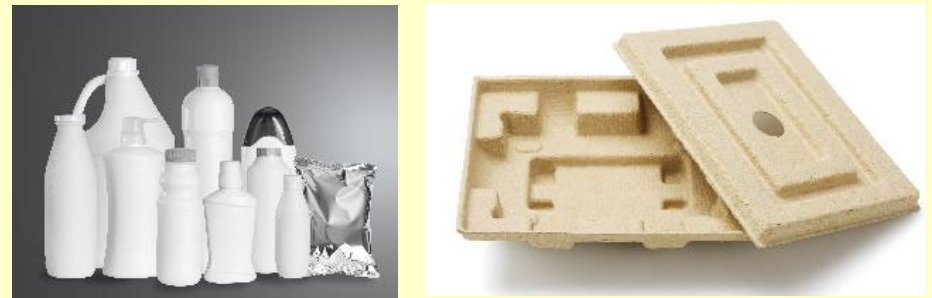
# サステナブルなパッケージ資材の強化

- 再生可能なパッケージへのニーズの高まり（EUなど）

- 蒸着紙の事業機会が拡大
  - 環境適正に優れたプレミアムパッケージ資材
  - 欧州・北米で圧倒的なシェア



- 新たなパッケージ資材の拡充
  - 機能性と環境負荷の低減を両立



印刷

✓ コーティング

ラミネーション

✓ 成形

パターンニング

NISSHAの  
コア技術



# 新たな製品ラインアップを拡充

## Autonomous (自動運転)



- 外装
- 機能性パーツ
- 外装加飾パーツ

## サステナブル社会



- 燃料電池車
- 水素ディテクター

## 車内空間の快適性

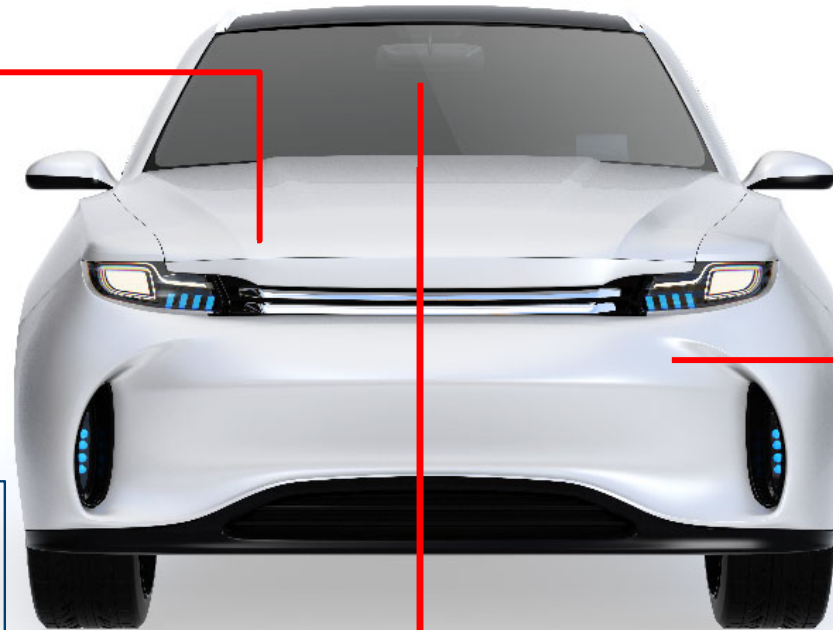


- 内装
- 加飾フィルム、成形品
- 内装向け新材料、製品  
ラインアップの拡充

## コネクティビティ



- インターフェイス
- タッチセンサー
- フォースセンサー



# 収益性・効率性の最大化を目指す

## ●市場機会



当社タッチセンサーの採用モデルは増加

## ●NISSHAの強み

### 技術力

- 細線・狭額縁
- 薄型化
- 光学特性

### 品質 供給能力

- 垂直立上げ
- サプライチェーンからの評判

### コスト 競争力

- Lens TechnologyとのJV

Nissha and Lens Technologies  
2019年 量産稼働予定



# 企業価値の向上と株主の利益を追求

## 成長投資

- M&A：医療機器、高機能パッケージ資材、自動車
  - 3年間の予算：315億円
- 設備投資：設備の更新投資を中心に抑制

※3年間：第6次中期経営計画（2018年-2020年）

## 株主還元

- 配当
  - 2019年予想：30円 + 5円（90周年記念配当）
- 自社株買い
  - 機動性の高い株主還元策
  - 2018年は2回実施（2月、11月）



# 2019/12期 通期業績計画

EMPOWERING YOUR VISION

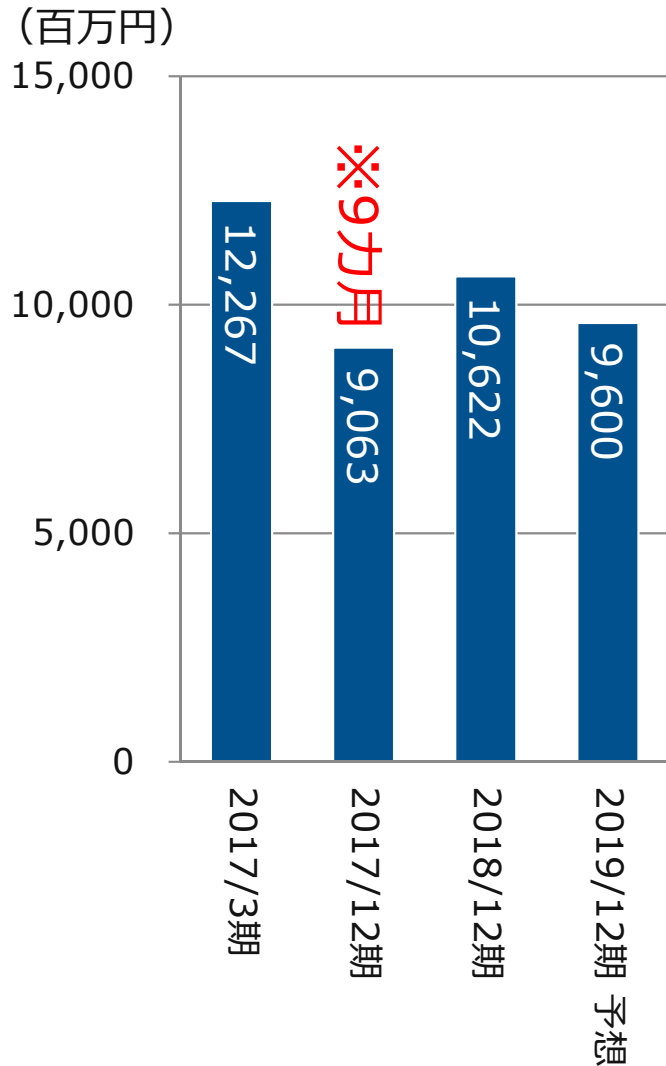
## M&Aは含まない前提、為替は¥105/\$

(百万円)

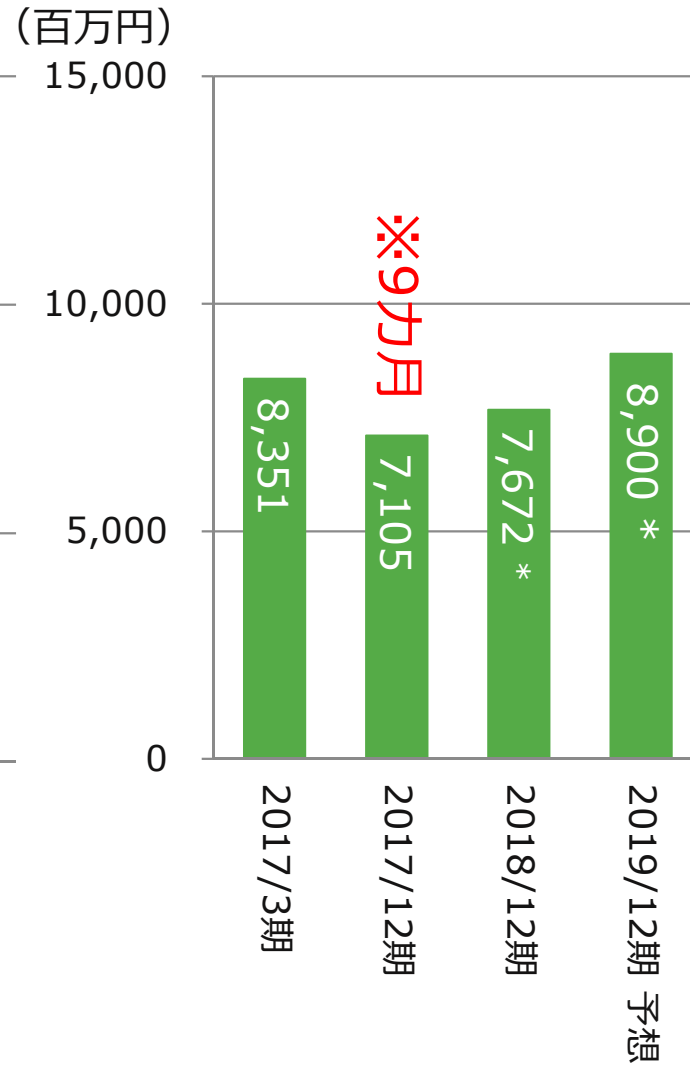
	2018/12期 通期 (1-12月) 実績	2019/12期 通期 (1月-12月) 計画	2019/12期		前期比 (2018/12期比)
			H1 (1月-6月) 計画	H2 (7月-12月) 計画	
売上高	207,404	195,000	78,000	117,000	▲6.0%
産業資材	47,124	51,800	24,800	27,000	+9.9%
デバイス	123,541	110,600	37,200	73,400	▲10.5%
メディカルテクノロジー	22,351	25,000	12,500	12,500	+11.8%
情報コミュニケーション	13,935	7,100	3,300	3,800	▲49.1%
その他	452	500	200	300	+10.6%
EBITDA	17,343	18,800	1,080	17,720	+8.4%
EBITDA率	8.4%	9.6%	1.4%	15.1%	+1.2pt
産業資材	3,675	4,900	-	-	+33.3%
デバイス	14,444	13,200	-	-	▲8.6%
メディカルテクノロジー	1,829	2,400	-	-	+31.2%
情報コミュニケーション	▲402	400	-	-	黒字化
その他	▲2,203	▲2,100	-	-	-
営業利益	8,071	8,500	▲4,000	12,500	+5.3%
営業利益率	3.9%	4.4%	-5.1%	10.7%	+0.5pt
経常利益	7,370	7,800	▲4,300	12,100	+5.8%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	4,308	6,000	▲4,000	10,000	+39.2%
為替レート	¥109/\$	¥105/\$	¥105/\$	¥105/\$	-

# ご参考：設備投資・減価償却費・研究開発費

## 設備投資

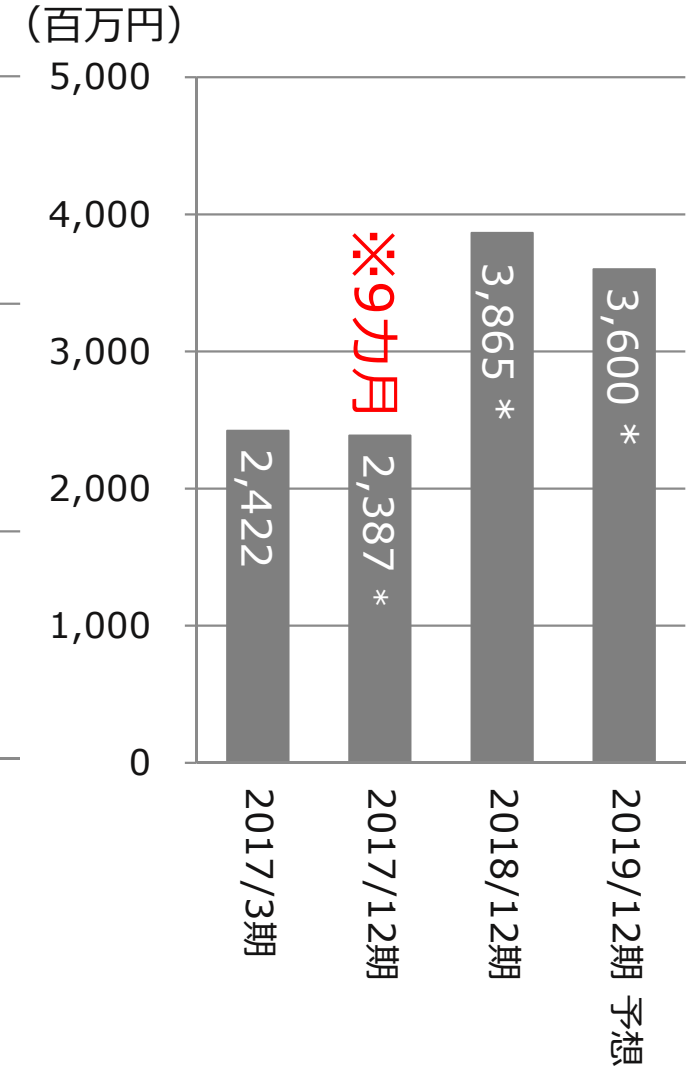


## 減価償却費



\*2018/12期より国内グループ会社の減価償却の方法を定率法から定額法に変更しています。

## 研究開発費



\*2017/12期より生産部門の一部の役割が研究開発に変化したことによる増加です。

# ご参考：設備投資・減価償却費・M&A投資・ のれん償却費・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績	第4四半期 (10-12月) 実績
設備投資	3,431	1,745	3,485	1,961
減価償却費	1,955	1,889	1,937	1,891
M&A投資	39	2,877	79	659
のれん償却費	388	376	460	375
研究開発費	933	979	878	1,075

\*2018/12期より国内グループ会社の減価償却の方法を  
定率法から定額法に変更しています。

This document contains confidential information and all rights regarding the document belong to Nissha Group. Therefore, any disclosure and/or leakage of the document to any third parties other than recipients of the documents, and copy, transfer and/or citation of the document without the prior authorization of Nissha Group are strictly prohibited. In addition, any use of the document for the purpose other than original purpose for the disclosure of the document is also prohibited.

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利はNISSHAグループに帰属しているため、NISSHAグループの事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複製、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。